

第6回 運転管理検討会 議事録

1. 開催日時：平成18年6月26日(月) 13:00～17:15

2. 開催場所：東北電力(株)本店 1階 1A会議室

3. 参加者 (順不同, 敬称略)

委員：濱名・田中(東京電力), 坂元(関西電力), 浪越(北海道電力), 青木(東北電力), 榊田(中部電力), 内富(中国電力), 石井(四国電力), 佐野(日本原電) (計9名)

委員代理者：水口(九州電力・藤井), 市川(電源開発・須河内) (計2名)

欠席：多田(北海道電力), 間嶋(北陸電力) (計2名)

常時参加者：佐久間(東北電力) (計1名)

オブザーバ：井上(日本原子力技術協会) (計1名)

事務局：長谷川(日本電気協会) (計1名)

4. 配付資料

資料 No.6-1 第5回 運転管理検討会 議事録(案)

資料 No.6-2 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(仮称)(JEAC480X-200X)

5. 議事

(1) 会議定足数の確認について

委員総数13名に対して本日の出席委員数は, 代理委員も含めて11名で検討会決議に必要な委員総数の2/3以上の出席が確認された。

(2) 代理参加者およびオブザーバ参加者の承認について

本日, 代理出席の水口氏(九州電力・藤井代理), 市川氏(電源開発・須河内代理) およびオブザーバ参加の井上氏(日本原子力技術協会)の会議参加に, 検討会主査から承認された。

(3) 前回議事録(案)の確認について

事務局より, 資料 No.6-1 に基づき, 前回の検討会議事録(案)が紹介され, 本内容について承認された。

(4) 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(仮称) 制定案の検討

田中委員より, 資料 No.6-2 に基づき, 原子力発電所運転責任者の判定に係る規程(仮称)(案)として, 前回からのコメント反映分, 解説および付属書の改定案が説明された。議論の結果, 法令用語との整合, 本文と解説および付属書との整合, 表現修正などを行うこととした。

今回のコメントを反映した制定案を次回検討会で再検討して, 運転・保守分科会に中

間報告することとした。

委員からの主なコメントは以下のとおり。

表文の制定の経緯は、時系列がわかるような表現に修正する。

3.定義の「運転員」の「研究炉開発段階～」と目的の内容に齟齬がある。

4.2 判定の方法で、「経歴の確認」は「経歴及び地位の確認」とする。以下同様。

また、「運転実技試験」と「筆記・口答試験」は小項目として一つにする。

解説 4.1-2 以降に「実用炉以外の原子炉の運転業務」の項目を追加し、別表-1の解説項目の引用を追加する。また、「運転業務」を「実用炉の運転業務」として、法令用語と整合させる。

解説 4.2-1,4.2-2 の運転実技試験、筆記・口答試験の判定の方法には、試験の目的を追記する。

解説 5-1 にも目的を追記する。

(5) その他

- 1) 次回運転・保守分科会(8月10日か,8月11日)に,運転責任者規程制定案の中間報告を行なう。
- 2) 次回検討会は,7月4日(火)に日本電気協会 会議室で実施する。

以上